別紙　審査評価項目

審査対象	審査項目		作成(実施)における注意点		審査ポイント	評価配点 持分	A	B	C	D	E
提案書類	1 提案事項を実施するにあたっての取組方針	1	本市の課題や本業務の方針を理解したうえで、提案全体の考え方を示すこと。	1	(1) 調達仕様書の内容や本業務の方針を理解したうえで提案しているか。 (2) 本市が抱える課題を解決できる提案となっているか。	300	20	15	10	5	0
		2	本市の課題等を踏まえたうえで、本市における同システムの必要性や方向性、業務改善効果を示すこと。	1	(1) 本市の置かれている状況をどれだけ理解しているか。 (2) 本市の業務改善に関する課題に対する解決となる提案ができているか。		20	15	10	5	0
		3	園運営に係る職員負荷(システム利用の慣熟に至るまでの一時的負荷を含む)に対して、対応方針を記載すること。	1	職員に対するフォローをどのように考えているか。		20	15	10	5	0
	2 業務の実施における重要ポイント	1	システム開発(設計、テスト、移行等)に関するスケジュールを、工程ごとに具体的に示すこと。	1	(1) 必要な各作業項目を含め、構築全体スケジュールが提示されているか。 (2) リスクがあるポイントが明確になっており、その対応策が現実的なものとなっているか。		20	15	10	5	0
		2	システム開発(設計、テスト、移行等)における有効なカスタマイズ抑制施策を示すこと。	1	職員のカスタマイズ要望を抑える手法が示されているか。		10	7	5	2	0
		3	システム開発(設計やテスト、移行等)やシステム運用保守で実施する作業において、職員の負荷を軽減するための手法や施策、提案業者との役割分担を示すこと。	1	システム開発や運用・保守の各作業において、提案業者と職員の役割分担が明確になっており、職員の負担を軽減するために有効な手法が示されているか。		10	7	5	2	0
		4	システム開発のプロジェクトにおいて、スケジュール遵守や品質を担保するための有効なプロジェクト管理施策を、「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／8開発要件」に示す要件を踏まえて提案すること。	1	(1) プロジェクトを円滑に進めるための工夫や有効なスケジュールの管理手法が示されているか。 (2) 工程完了判定会議の実施等、システムの品質を担保するための施策が示されているか。		10	7	5	2	0
		5	本業務の納品物を、「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／2 調達仕様の基本事項／4スケジュール／(4)主要成果物」に示す要件を踏まえて提案すること。	1	(1) 調達仕様に示す成果物を納める提案になっているか。 (2) 調達仕様に示す成果物との差異がある場合でも、同等の成果物を納めることが示されているか。 (3) 成果物が、スケジュールや調達要件の提案と整合しているか。		10	7	5	2	0
	3 体制及び実績	1	本業務の実施体制として、人員配置、業務管理体制(品質管理、進捗管理、問題把握等)等を示すこと。	1	(1) 本プロジェクト実行に必要充分な要員配置、管理体制となっているか。 (2) 本業務を進めるうえで十分な人数の体制となっているか。 ※様式3「体制図」及び様式4「業務従事者調書」と合わせて評価する。		20	15	10	5	0
		2	プロジェクト人員の類似業務実績を示すこと。プロジェクト人員については、具体的な担当者名を示すこと。	1	(1) プロジェクト管理者は、本市以外に同規模自治体における十分な実績が存在するか。 (2) プロジェクト人員が有効な資格を保有しているか。 ※様式4「業務従事者調書」及び様式5「類似業務実績調書」と合わせて評価する。		20	15	10	5	0
		3	保育所等の業務支援システムの構築案件の実績を示すこと(提案者が導入した実績のみとする。)。	1	官公庁(国、都道府県、人口概ね10万人以上の市又は特別区)における類似システムの構築実績(内容・規模・実績件数)が十分にあるか。 ※様式5「類似業務実績調書」と合わせて評価する。		20	15	10	5	0
	4 調達要件	1	「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／6 非機能要件／(1)性能要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		10	7	5	2	0
		2	「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／6 非機能要件／(3)セキュリティ要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		10	7	5	2	0
		3	「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／6 非機能要件／(16)データセンター要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		10	7	5	2	0
		4	「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／7 連携要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。 (3) 本市の求める給与計算等、連携に関してどれだけの自動化が図られているか。		25	18	12	6	0
		5	「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／9 研修要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		20	15	10	5	0

別紙　審査評価項目

審査対象	審査項目		作成(実施)における注意点		審査ポイント		評価配点 持分	A	B	C	D	E
			6 「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書／10 運用・保守要件」の実現方法を示すこと。	1	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。			10	7	5	2	0
	5	追加提案等	1 調達仕様書の記載内容以上に、追加で提案する機能や要件、業務があれば提案すること。	1	(1) 追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか。 (2) 追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか。			5	3	2	1	0
			2 調達仕様書の記載内容と相違(調達仕様を満たさない提案)がない前提で提案書を作成すること。なお、相違(調達仕様を満たさない提案)がある場合は、理由とともにその内容を示すこと。	1	(1) 提案内容と調達仕様書の内容に相違(調達仕様を満たさない提案)がある場合には、その箇所と理由が記載されているか。 (2) その相違は、本市にとって許容できるものか。			5	3	2	1	0
			3 本市が「吹田市教育・保育施設運営支援システム構築業務に関する調達仕様書」に記載している、会計年度任用職員給与支払いにかかる課題と、これに対する提案者及び提案システムの取組方針・運用方針を記載すること。	1	本評価項目4-4と関連して、本市の望む業務改善施策としてどれだけの実現性を提示できているか			25	18	12	6	0
	小計							300	218	148	70	0
システム機能要件及び帳票要件の適合性			1 様式10「機能要件対応状況表」及び様式11「帳票要件対応状況表」に記載された機能について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	1	システム機能や帳票等が本市業務に適合しているかどうかを、様式10及び11の回答及び重要度に応じて採点する。 様式10及び11の回答凡例: ◎:パッケージ標準対応 □:標準機能による代替運用(EUC等) △:カスタマイズ対応 ×:実現不可能 重要度について次の基礎点を配する。 (1) 重要度S 3点 (2) 重要度A 2点 (3) 重要度B 1点 (4) 重要度C 0.6点 (5) 重要度D 0.1点 当該基礎点に、対応状況の回答により以下の数字を乗じたものを当該要件の点数とする。 (1) ◎ 1.5倍 (2) □ 1.2倍 (3) △ 1倍 (4) × 0倍 全要件の点数を合計し、小数点以下を切り捨てたものに1点を加点したものを評価点とする。		300	—				
見積金額			1 本業務を遂行するうえで必要となる費用(システム開発費用・打刻受付機器等に係る機器費用)を記載すること。また、本契約金額には含まれないが、審査として5年間分の運用保守費用を含めること。	1	見積金額の低い提案をより高く評価するように採点する。 提案者中の最低見積金額(円)(税抜)を当該提案者の見積金額(円)(税抜)で除し、評価配点150点を乗じたものを評価点とする。(小数点以下は切り捨てる。)		150	—				
デモンストレーション・プレゼンテーション・ヒアリング			1 教育・保育施設運営支援システムパッケージのデモンストレーションを実施すること。	1	提案時点のパッケージソフトの有無と要件の実現性		250	25	18	12	6	0
				2	画面の見やすさ			25	18	12	6	0
				3	使いやすさ(操作性、画面遷移等)			25	18	12	6	0
				4	サポート機能(ガイド、入力補完、ミス防止等)			25	18	12	6	0
				5	システムの印象			25	18	12	6	0
			2 提案書及びプレゼンテーションに対する本市からのヒアリングに回答すること。	1	熱意・積極性・意欲・品格・礼節			25	18	12	6	0
				2	回答の的確さ(質問との整合性、提案書との整合性)			25	18	12	6	0
				3	回答説明の分かりやすさ・聞きやすさ			25	18	12	6	0
				4	提案内容の実現性			25	18	12	6	0
				5	全体の印象			25	18	12	6	0
	小計							250	180	120	60	0
合計							1000					

【評価配点凡例】
A: 有効な提案者独自の追加提案がある等非常に優れた提案である。
B: 優れた提案である。
C: 本市が求める水準を一定満たした提案である。
D: 低い水準の提案である。
E: 非常に低い水準の提案である(提案がない場合を含む。)。